

米国カリフォルニア州 カンキツグリーニング病検疫規制地域を拡大

[米国農務省動植物検疫局通知 DA-2025-47 2025年11月13日](#)

件名: カリフォルニア州におけるカンキツグリーニング病(HLB)の検疫規制地域の拡大について

宛先: 州、部族及び準州の農業規制当局担当官

米国農務省動植物検疫局(APHIS)は、カリフォルニア州食品農業局(CDFA)と協力し、*Candidatus Liberibacter asiaticus* によって引き起こされるカンキツグリーニング病(黄龍病; HLB)の同州内の検疫規制地域を拡大し、本措置は直ちに発効する。拡大される地域は、リバーサイド郡リバーサイド地域の3平方マイル(約8平方キロメートル)である。これらの措置は、CDFAが2025年9月25日に定めた州内の検疫と並行して実施される。APHISは、リバーサイド郡の住宅地から採取された植物組織サンプルからカンキツグリーニング病が検出されたため、この措置を講じるものである。この拡大の影響を受ける商業的柑橘類園地はない。

APHISは、カリフォルニア州の検疫規制地域からの規制対象物品の州間移動について、連邦規則集第7編第301.76条及び連邦命令に概説されている保護措置を適用している。これは、HLBが米国内の非感染地域に広がるのを防ぐために必要なものである。

カリフォルニア州の検疫規制地域の具体的な変更内容は、[APHISカンキツグリーニング病ウェブサイト](#)に掲載されている。APHISは、おってこの変更を連邦官報に掲載する。(連絡先等省略)

ベトナム バナナのTR4対策緊急プロジェクトを開始

[FreshPlaza 2025年11月14日](#)

ベトナム農業環境省(MAE)は、フザリウム菌TR4によるバナナ萎凋病を対象とした緊急プロジェクトを開始した。事業規模は12万968ドルで、国連食糧農業機関(FAO)が資金を提供する。このプログラムは2025年9月から2026年5月まで、北部のハノイ市、フンイエン省、ラオカイ省、ライチャウ省から、南部のドンナイ省、タイニン省、カントー市、カマウ省に至る15の市と省で実施される。

MAEによると、本プロジェクトはTR4の影響を面積で40%削減し、1~2の耐性品種を特定し、さらに少なくとも1種類の拮抗微生物株を分離することを目標としている。バナナはベトナムの主要輸出作物であり、中国、韓国、日本、EU等、10以上の市場に供給されている。高価値市場では、病害が無くトレーサビリティの確立した産地への要求が高まっている。作物生産保護局のグエン・クイ・ズオン次長は、これは国際基準に沿ったベトナム初のTR4プロジェクトであり、疫学的マッピング、抵抗性品種及び生物的防除を組合せ、病害発生への地方当局による対応を支援し、作物保護に関する農民の能力を強化するものであると述べた。

本プロジェクトは5つの成果に焦点を当てている。まず、300検体を収集して全国的な病害分布図を作成し、TR4の監視・早期警戒システムを構築する。また、早期の検出と報告を可能にするため、訓練を受けた専門家と分析スタッフの支援を得て、PCR法及びLAMP法を用いた診断能力を拡充する。さらに、将来の育種と生産に資するため、TR4に抵抗性または耐性を有するバナナ品種を選定する。化学的手法への依存を減らし、生物的防除を支援するため、TR4に拮抗する微生物株を特定する。加えて、無菌バナナ苗を生産するための組織培養プロセス及び地域での適用に適したTR4管理プロセスを開発する。

青果物輸出は引き続きベトナムの農業部門において大きな役割を果たしている。税関総局によると、2025年9月の輸出額は約13億ドルに達し、前月比35.9%増、前年同月比41%増であった。2025年1~9月の累計輸出額は8.3%増の約61億1千万ドルで、9月の数値は同部門における新たな月間記録を樹立した。

ドリアンは2025年8月末までに約10億ドルを生み出した。MAEによると、ココナッツ、パッションフルーツ、マンゴー加工品、パイナップル、バナナも成長を記録した。ベトナムは、市場の多様化と生鮮品輸出への依存を減らすための加工度の向上に努めている。同省はまた、ブロックチェーン、QRコード、農園デジタルデータシステム等のデジタル技術を活用した透明性、トレーサビリティ、コスト/リスク管理の改善を奨励している。

出典: AgTEchNavigator